

講義名	資源論		
科目区分	教養科目		
担当教員	南木 睦彦		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3時限		
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2014年度 サービス産業学部 観光学科 / 2014年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2014年度 商学部 商学科 / 2013年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2013年度 サービス産業学部 観光学科 / 2013年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2013年度 商学部 商学科 / 2012年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	13006

主題と概要

この科目には三つの目標がある。一つ目は現在の資源問題の概要を学び、それを自分自身の言葉で説明できるようになることである。二つ目は、資源論に関わる問題について対立する見解の双方の根拠を検討し、自分なりの判断を下せるようになることである。このため、リサイクルの功罪、クジラ・マグロの資源保全、日本の食糧自給率と自由貿易など、意見・見解・判断の対立があり、ディベートの論題としても好適な問題を取り上げる。三つ目は形式の整ったレポートを作成できるようになることである。このため、1回の授業全てをレポートの書き方の講義にあてる。

到達目標

授業中に学ぶ主要概念を身につけており、それを用いて資源論の現代的課題について説明できる資源論に関わる見解の双方を理解したうえで、自分なりの判断を下すことができる形式の整ったレポートを作成することができる

提出課題

期末にレポートを提出してもらおう。毎回の授業終了前10分ほどを使って、感想・質問を書いたり、小テストを行ったりする。

評価の基準

期末レポート40%、期末試験（定期試験期間に実施する）45%、平常点15%。平常点は「出席点」ではないことに注意すること。毎授業時の提出物(小テスト・小レポート)ならびに授業への貢献（授業中の発言、提出物を通じた良い質問や意見）で採点する。提出物があまりにひどい場合はマイナス点となる場合もあるし、非常に優れている場合は15%を超えて加点する場合もある。なお、1/3以上の欠席はレポート提出並びに期末試験受験の権利を失い「欠席」扱いとなる。

履修にあたっての注意・助言他

教科書

.使用しない.

プリント資料及び参考文献

授業中に参考資料を配布する

授業計画

- 1 資源とは何か
- 2 コモンスの悲劇
- 3 エネルギー資源
- 4 金属資源
- 5 リサイクル - 1
- 6 リサイクル - 2
- 7 リサイクル - 3
- 8 レポートの書き方
- 9 水産資源と排他的経済水域 - 1
- 10 水産資源と排他的経済水域 - 2
- 11 水産資源と排他的経済水域 - 3
- 12 捕鯨問題
- 13 食料自給率と自由貿易 - 1
- 14 食料自給率と自由貿易 - 2
- 15 まとめ

予習・復習

配布資料に記入したり、ノートを作成したりして、授業内容を整理していただきたい。授業直後にその日の内容を整理し、次の授業の直前に前回授業をふり返っておくことが望ましい。平均的な学生で、この作業に要する時間は1回の授業に対しておおよそ30分程度である。期末テストを実施する。このテストの準備のために要する時間は平均的な学生で（普段の学修をきっちりしておれば）3時間ほどであるうか。期末テストは「すべて持ち込み可」で実施する。

備考